

東久留米市の新時代はもう始まっている

宮川 豊史  
(久留米ハートネット)



【質問】物事には必ず賛成意見があれば反対意見もある。何が正しいか分からない以上、志を持って自分が正しいと信じる道を突き進むべき。できるかできないかではなく、自分が何をやりたいたいのかが大事。行動すれば失敗することもある。だからといって、チャレンジしないというのではなく、自分が正しいと思ったら挑戦すべき。

【質問】予算編成方針にスクラップ&ビルドの考えはなくなったのか。

【質問】黒字を目指して地方債残高を減らしたい。

【質問】公用車の私的利用は可能か。

【質問】車両管理規程第10条で、車両は公務のため必要と認められる場合にのみ運行できると定めている。

公園について検討できる環境づくりを

富田 竜馬  
(改革市民派無所属)



【質問】市内の公園の樹木剪定を含めた包括管理委託ができないか。

【質問】財政的な側面や日常からの各公園の把握、必要に応じた剪定等の対応を迅速に行うことなどを考えると現状では難しい。これまでの対応を引き続き行いながら、適切な維持管理に努めていきたい。

【要旨】公園の問題は市民の関心が高い。市民の意見に耳を傾け、対応可能な範囲を広げていってほしい。

【質問】東村山市でも学校のプール授業の外部委託が試験的に行われたが、本市でも同様なことができないか。

【質問】現在、学校のプールの維持管理や施設改修に係るコストの捉え方や他自治体の取り組み等の情報収集などを行っている。今後は、市内にプールを保有する事業者にも、現在の一般利用の状況や水泳授業に関する意向を聞くなど、引き続き調査・研究を続けたい。

災害に強いまちづくり

野島 武夫  
(自民クラブ)



【質問】自主防災組織の組織数および活動内容は。

【質問】自治会などを主体とする自主防災組織が27団体、マンション等の管理組合を主体とする自主防災組織が6団体。加入している総世帯数は1万1567世帯。消防署の協力による避難訓練や消火訓練、応急救護指導、各種教養、防災防犯課職員による防災講習など、各自自主防災組織ごとにその地域に即した活動を実施している。担当部としては、さらなる自主防災組織の活性化に向けて地域と連携していきたい。

【質問】市の防災対策の状況は。

【質問】総合水防訓練および総合防災訓練の開催方法を変更し、感染症まん延による緊急事態時に発生した災害に対応するため、感染症対策を実施した上で、初期活動班による避難所開設訓練を実施するなど、災害時を想定した防災対策訓練を実施している。

安全・安心で健康長寿のまちづくり

島崎 清一  
(自民クラブ)



【質問】東久留米消防署とイオンモール東久留米が結んだ防災協定の内容は。

【質問】「災害発生時において、治安維持に必要な東久留米消防署の代替指揮拠点としてイオンモール東久留米店の管理するイオンホールおよびトレーニングルーム、平面駐車場の一部を東久留米消防署が使用すること並びに災害時に必要となる署員への物資の供給に協力すること」とされている。

【質問】「口腔ケア」の取り組み状況は。

【質問】健康増進計画「わくわく健康プラン東くるめ(第2次)」において「生涯を通して歯や口腔が健康なまち」を分野別目標とし、乳幼児から高齢者まで幅広い年代に対して取り組みを実施している。歯と口腔の健康を保つことは、健康寿命を延伸する上で大変重要な役割を果たすことから、今後も東久留米市歯科医師会や東久留米市健康づくり推進員なども連携し進めていく。

# 市政のここが聞きたい

第4回定例会の一般質問は、11月26日・29日・30日・12月1日の4日間でわれ、21名の議員が当面する市政運営について市長の姿勢や考え方を質問しました。主な内容を掲載します。一般質問を含む第4回定例会の本会議の録画映像は、市ホームページのインターネット映像配信でご覧いただけます。会議録は、2月下旬から、市ホームページ(PDF版は2月中旬)または、市立図書館、各コミュニティ図書室、市政情報コーナー(本庁舎1階)でご覧いただけます。

東久留米市地域資源PRキャラクター  
湧水の妖精  
るるめちゃん



議案の重みを再認識せよ

沢田 孝康  
(公明党)



【質問】東久留米市新型コロナウィルス感染症対策基金条例は、令和2年第2回定例会で議員提出議案として全会一致で可決成立したが、3年3月末で残念であったがその効力を失った。同基金の積立金の処分はどうなったのか。

【質問】積立総額は53万4025円で、テイクアウトデリバリーキャッシュレス推進事業、昭和病院企業団への財政支援、下水道基本料金減免のために使った。

【質問】滞納者で遠方転出者の実態把握について、市としてどのような取り組みを行っているのか。

【質問】滞納整理を行う上で、市外、とりわけ他府県に居住の滞納者に直接接触することは難しく、コストを考えると困難な状況。他市では、民間の債権回収会社に現地調査を委託し、効果を上げていることが分かった。本市でも実現可能か検討したい。

市民に寄り添い、必要な支援を!

高橋 和義  
(公明党)



【質問】本市では、昨年度からオレンジヘルプカードを採用しているが、加えて見守りシールやGPS探索サービスを活用する考えはあるか。

【質問】行方不明高齢者の早期発見・保護につながるツールであること認識しているが、活用面では課題があるとも考えている。導入している自治体での効果を検証したい。

【質問】野良猫に不妊・去勢手術をして地域猫として見守る活動に対し、手術の経費を補助する事業について繰り返し提案してきたが、その後の進捗は。

【質問】行政が公益財団法人どうぶつ基金で発行する無料不妊手術チケットの交付窓口となり、ボランティア団体等に配布する行政がある。同窓口となるに当たり順守する事項があることを確認したこと、事業に参加する他団体の取り組みを調査している。引き続き、参加に向けた検討を進めたい。

子どもたちを大切に市政へ

鴨志田 芳美  
(日本共産党)



【質問】中学校給食の必要性と保護者・子どもたちの声を聞くことについて、市としての考え方を伺う。

【質問】中学校給食については、導入の際に一定の議論をし、その中で現在の方法を採用している。現在も安全で安心な給食が提供できている状況があることを踏まえ、この形で当面は続けていく必要があると考えている。

【質問】ティーンズ世代の読書と図書館利用につなげるための取り組みとして行っている同世代を編集員とした冊子の発行について伺う。

【質問】ティーンズ世代が編集に携わり同世代に向けた「ほけ☆ま」というお薦めの本の紹介などを掲載した冊子を作成しており、5号まで発行している。応募があった中学2年生から高校3年生の9人が参加しており、その中から編集長を決めて、図書館職員も加わりながら活動している。

黒目川の自然環境調査の結果は

北村 龍太  
(日本共産党)



【質問】来年度から、15対1だった直営の学童保育所の職員体制も、国基準の20対1にするとのことだが、手厚い体制だった運営が後退するのは。

【質問】民間委託でも事故やけがが突出することはなく、民間活力を導入した学童保育所の利用者アンケートの回答も、「満足」どちらかといえば満足」が97.6%だった。最低基準を理由とした運営の低下には当たらないと考える。

【意見】民間委託開始半年後の調査だけでは検証が不十分。職員体制と民間委託を見直すよう強く求める。

【質問】5月に都市計画道路東3・4・13号線と黒目川が交差する地点で行った自然環境調査の結果は。

【質問】植物は46科、山種類が生息、希少種は確認されなかった。魚類は3科、6種類が確認され、アブラハヤ、オイカワ、ミナミメダカが環境省や都のレッドリストに該当した。

子どもが安心して水浴びできる河川に

梶井 琢太  
(未来政策フォーラム)



【質問】市内河川の大腸菌群数は、環境基準で100cfu/l以下とされる。令和2年度の状況は。

【質問】数値が高い箇所は、黒目川が弁天橋の100cfu/l以上、2863cfu/l、落合川は立野川が合流する新落合橋下流の100cfu/l以上、1万3433cfu/l、立野川は中流部分の小沢橋で100cfu/l以上、2万7000cfu/lだった。

【質問】特に立野川が高いが、測定点は1カ所のみ。汚水排出箇所が多い下流も調査しては。一方、人体への影響等を含め、直接的に水浴びの基準があるのは、ふん便性の大腸菌群数。親水広場等に限りこれを調査し、安全性を示す。

【質問】特に立野川が高いが、測定点は1カ所のみ。汚水排出箇所が多い下流も調査しては。一方、人体への影響等を含め、直接的に水浴びの基準があるのは、ふん便性の大腸菌群数。親水広場等に限りこれを調査し、安全性を示す。

【質問】子どもが安全に水に親しめるよう自治体の取り組みを調査・研究しては。

【質問】新たな箇所の水質調査は一定の予算を伴うので、意見として受け止める。他団体の状況は調査してみたい。

学童保育所への民間活力の導入は

佐藤 一郎  
(未来政策フォーラム)



【質問】学童保育所への民間活力の導入に係る実施計画の改訂を検討していることだが、その内容は。

【質問】4月から新たに、第一小学校区の前次第一・第二学童保育所、第十小学校区の柳窪第一・第二学童保育所、本村小学校区の本村学童保育所において民間活力を導入する。この民間活力の導入に伴い、直営の学童保育所において延長育成に対応する人員体制が見込めることから、4月より直営の全ての学童保育所においても、民間活力を導入した学童保育所と同様に、平日は19時まで、土曜日は18時までの延長育成を実施していく。

【質問】安定的な事業の継続という課題への対応と民間による運営のノウハウを活かして育成内容の充実が図れることなどから、引き続き、今後の東久留米市立学童保育所の運営方針に基づき、業務委託の拡大を検討していく。